

2023年2月18日

関係者各位

公益社団法人 日本ラクロス協会 事務局

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた公式戦の運営基本方針 (2023年 第1版)

これまでの新型コロナウイルス感染症への各種対策を踏まえ、2023年度の公式戦実施に向け、「運営基本方針」を以下の通り定めました。「会場対応・観客に関する制限」「感染者発生時の対応・報告」も本方針内に組み込まれています。なお、「新型コロナ特措」(別添)は、本年3月31日をもって終了することとなります。

2023年度版の策定にあたって：

2020年以降、運営基本方針を毎年度策定し、期中にも適宜アップデートしてきましたが、全般的に制限が緩和傾向(特に本年5月8日をもって「2類相当」から「5類」に変更予定)であり、更には行事運営側も、行事参加者である各チーム/各個人も、行政の通達等を自主的に確認する習慣ができたことも考慮し、2023年度は一律の制限をできるだけ削除します。

但し、これまでの各種制限を完全に撤廃するとなれば運営者・参加者双方にとっての混乱を招くこと、また、行事主催者として引き続き配慮すべき事項もあることから、多少の制限は残した形で運営基本方針(2023年度版)を策定しています。

繰り返しとなりますが、本運営方針はラクロスに関係する各々が感染症の動向や、行政や施設等の定めを都度確認し、各行事の準備・運営・参加をすることを前提としたものです。コロナ禍で生まれた工夫も活かしつつ、素晴らしい1年間を一緒に作っていきましょう。

公式戦開催にむけての前提：

- ・政府、各自治体、公的機関等による定めや、世の中の動向を逐次確認する。
- ・大会毎の運営主管が自主的に最新情報を確認し、行事催行について判断する。
- ・各大会の直前又は期間中でも、状況次第で中断、形式変更、中止できるよう備えておく。
- ・マスク着用の制限は大幅に緩和するが、エチケット観点から当面運営側は着用とする。
- ・観客上限に関しては一律の制限を設けず、行政・施設の定めに従う。
- ・感染動向の把握の為、感染発生時には引き続きフォームで報告する。
- ・活動チェックリストの都度提出は不要とする。但し、大会参加申請・行事参加申込の際に体調不良時の参加を行わない旨、包括的に同意を取り付ける。

運営基本方針：

催行判断	・大会毎の運営主管が自主的に最新情報を確認し、行事催行について判断する。
対面会議	・行事運営の準備等における、対面活動は可能とする。 ・オンライン開催／ハイブリッド開催も活用する。
宿泊	・当面、同部屋宿泊が4名以下に収まるようなオペレーションとする。
感染者発生時の対応	・大会期間中以外でも、感染者が発生した場合は所定フォームで報告する。 ・特に大会期間中に感染者が発生した場合は、大会主管にも報告する。 ※報告方法は別途定めるフローに従うこと。

会場対応・観客に関する制限：

チーム備品	・リスク高の備品（ドリンク等）は個人管理とするなど、チームで対策する。
選手用具	・リスク高の装具（マウスピース等）の着脱時は、周囲に十分配慮する。
マスク	・選手、スタッフ、指導者、審判員はマスク必須としない。 ・ベンチ入りメンバーはマスク着用なしでのベンチエリアでの大声も可とする。（但し、周囲には配慮すること。） ・MC/GD：常時着用。（水分補給時除く） ・オフィシャルテーブル：常時着用。（水分補給時除く） ・ボールパーソン：着用不要とする。 ・観客：原則マスク不要とするが、声出し応援時はマスク着用とする。
声出し応援	以下①②を満たす場合は「声出し応援」を認める。 ①各行政によって定められた声出しに関する条件（収容率等）を満たしている。 ②施設として、声出し応援を認めている。 【観客の観戦ルール】 ・大声を出す際にはマスクを着用し、他者との間に身体的距離を確保する。 ・声出し応援時は、常にフィールド方向を向く。 ・周囲に最大限配慮する。
観客の把握	・全観客の情報（名前・連絡先）の把握は不要とする。 （有料試合以外での Peatix 等受付システム使用は不要とする。）
観客の制限	・大学グラウンド等の制限がある施設では、定めに応じて制限する。 ・施設のキャパシティ等を考慮し、運営判断で制限することも可とする。
会場の公開	・非公開にする旨の施設制限がない限りは、全試合基本的に公開する。
メンバーリスト	・ベンチ入りメンバーのみの記載でよい。体温記載は不要とする。 ・オフィシャルチームはメンバーリストの提出は不要とする。
活動チェックリスト	・活動チェックリストの都度提出は不要とする。 ・チームは行事参加申込時に、体調不良者は来場しない旨の同意を取る。

感染者発生時の対応・報告：

- ・ 感染者／濃厚接触者が発生した場合、対応方法、療養期間／待機期間について、行政の最新の情報を確認し、定められたプロセスに従う。
- ・ 感染動向の把握の為、感染発生時には引き続き以下フォームで報告する。
<https://forms.gle/BwinukV4qPaFjuwm7> (⇒QR コード)



- ・ JLA 主催行事に参加している場合、開催期間中（直前・直後含む）は、報告フォームへ入力するとともに、次の経路にて報告する。
 - 試合チーム／オフィシャルチーム： チーム代表者から大会運営責任者
 - 審判員： 該当者となった審判員から、審判部および審判派遣担当者
 - 大会運営スタッフ： 該当者から大会運営責任者

※ 報告を受けた後の、大会運営側による基本対応は以下の通り。

試合の参加予定者から感染者（疑い含）・濃厚接触者が発生した場合

- ・ オフィシャル、審判、大会運営スタッフでの欠員は代理を探す。
- ・ 試合チームの影響範囲および活動可能人数を確認し、チームとして試合参加が困難となった場合には、可能な限り延期・再試合を調整する。
※詳細は各リーグ戦規約を参照すること。

既に実施した試合の参加者から、感染者・濃厚接触者が発生した場合

- ・ 会場施設に、第一報として共有する。
- ・ 他への影響可能性がある場合、影響のある範囲の参加者に情報共有する。
(該当者を特定できるような情報は**絶対に**伝えない。)
- ・ 情報の進展があれば、必要に応じて参加者および会場施設に共有する。

以上

【参考：新型コロナウイルス対策特別措置（新型コロナ特措）について】
(2023年3月31日まで。次年度への更新は行わない。)

2022年3月26日

関係者各位

一般社団法人日本ラクロス協会 理事会

新型コロナウイルス対策特別措置（新型コロナ特措）の継続について

一般社団法人日本ラクロス協会は、新型コロナウイルス感染症の発生以降、事態を注視しながら、協会方針を発表・更新して参りました。

コロナ禍における行事主催・運営にあたっての実績・知見も蓄積され、感染動向が悪化した場合でも柔軟に対応できるよう各種規約・規則等への反映も進めておりますが、依然として突発的な対応が必要となる場面も起こり得ると捉え、暫定的緩和措置である「新型コロナ特措」（2020年4月18日施行、2021年4月17日継続）を以下内容の通り継続することと致します。尚、今後も必要に応じて随時追加見直しや判断等を取る場合があることをご理解下さい。

1. 連盟・リーグ戦・諸大会・審判員・指導員等、競技団体・会員対象に定められている規約・規則等で、新型コロナウイルス感染症に起因する活動停止・自粛要請等により、その適合が困難な状況にある場合は、本来目的の趣旨を逸脱しない範囲で、また運営に多大な影響を及ぼさない範囲で、下記内容を暫定的に緩和する事を認める。

- ① 申請等 手続き提出期間・締め切り期限
- ② 提出必要書類等
- ③ 参加条件・要件（人数、等）
- ④ 資格要件（試験・講習・実習参加要件、等）
- ⑤ その他（行事運営方法・必要備品、等）

2. 上記の対応が必要な場合

連盟本部、各大会運営本部、審判部本部、JLAcademy等の管理責任部門は、現行規約・規則等を変更せず「新型コロナ特措」として、適切な緩和策詳細を定めるものとする。

3. 当該「新型コロナ特措」は、理事会に適時報告の上、関係者に告知通報を行い実施適用するものとする。

4. 本特別措置の適用期間は2023年3月31日までとする。但し、今後の状況次第で適宜見直しを行うものとする。

以上